

2025年羽幌町が選んだニュース

2025年もいろいろな出来事がありました。どんな年だったか振り返ってみましょう。

令和6年度ふるさと納税寄付受入額約2億6千万円

～2億円の大台を突破し、過去最高額を更新

新 嘗祭献穀田に指定

～築別の有野直倫さんが
町内では21年ぶりとなる令和7年度の宮中祭祀「新嘗祭」の献穀者に選定

D X化で町民サービスが向上

～粗大ごみ・水道開閉栓の申込フォーム、窓口等のキャッシュレス決済
ほっと号バスロケーションサービスなどを導入し、利便性向上を図る

サンセットビーチで「道北ダンスフェス」初開催

～羽幌町をはじめ、道北各地で活躍するダンスチームが集結し、
総勢300人以上が躍動

町内の若者が全国で活躍

～中学軟式野球の地域クラブ「羽幌フェニックスミドル」が
中体連全国大会に出場

～羽幌中学校3年 神永みそらさんが

馬の絵作品展で2年連続の最高賞(文部科学大臣賞)を受賞

～羽幌高校2年 高橋鳳晴さんが

空手道全国大会(高校男子70kg未満の部)で3位獲得

うちだ なめかた 内田・行方の

地域おこし協力隊が行く

Vol.6

内田隊員

羽幌中学校「キャリア学習」のインタビューを受けました



昨年11月25日に、羽幌中学校の生徒4名が総合的な学習の時間「キャリア学習」の一環として総合体育館に訪れ、インタビューを受けました。今の仕事に就いた理由や働く上で大切にしたいこと、どんな時に仕事のやりがいを感じるかなどの質問に対し、私の経験談を通して生徒たちが今後の将来について考えられるようお答えしました。一昔前に「13歳のハローワーク」という書籍がヒットしましたが、今回訪問された生徒たち(中学1年生)はちょうどその年齢と重なりますので、この時期からキャリア教育を学ぶ重要性を改めて実感しました。

最後に、私が大学職員として勤めていたキャリア支援センターで当時活用していた自己分析シートを中学生版に改良して生徒にお渡ししました。今後生徒たちが将来の自分について考え、具体的な行動に移すために使ってもらえると嬉しいです。

行方隊員

アイランダー2025に参加

昨年11月22日から23日までの2日間、東京池袋サンシャイン文化会館ビルで開催された全国の離島の祭典「アイランダー2025」に参加し天売島・焼尻島のPRをしてきました。

全国170以上の離島関係者が集結するこのイベントは、年に一度の島の魅力を発信する絶好の機会です。

ブースでは、天売島・焼尻島の関心度調査のためのアンケートを実施。ご協力いただいた方には、島で獲れた鱈の珍味や干しわかめをプレゼントしました。島の特産品プレゼントは大変好評でした。

また、来場者との会話から、観光に関すること、島の美しい自然や暮らしへの関心の高さが伺え、イベントを通して、天売島・焼尻島の新たなファンを獲得することができました。

